

14日間の冬休みが終わり、3学期が始まりました。本日から全日授業となり、給食も再開しました。学校生活のリズムを整えて、進学や進級に向けて1年間の総まとめとなる3学期にしていきたいと思います。

3年生の皆さんは昨日と今日の2日間にわたり、実力テストですね。1・2年生の皆さんは、課題テストや確認テストがありますね。皆さんが冬休み中に蓄えた力がうまく発揮されることを願っています。

◇ ビブリオバトルがありました。

12月23日終業式の午後、第9回生駒市長杯ビブリオバトル市内中学生大会が生駒市コミュニティセンターにて開催されました。本校では毎年2年生で、ビブリオバトルの取組が行われています。

当日は2年生代表として8名のバトラーが参加し、それぞれがお薦め本について、その魅力を目いっぱい語ってくれました。その話術に、会場の観客もぐいぐいと引き込まれていました。

最近は中学生の本離れが話題となっています。時代は電子図書へと移っていきつつあり、スマホでも読書はできますが、紙ならではのよさ・温かみは大変魅力があると思います。

◇ 始業式の話より（心の在り方についてのお話）

世の中では、凶悪な犯罪や事件、そして痛ましい事故など、心が重くなることが目につき、うれしくなるニュースが少ないように感じます。だからこそ、小さく見えている幸せを敏感に感じる感性が大切です。そして、自らのふるまいや行動の中での喜び、そして、仲間との絆の尊さなどを通して、心が喜ぶような生き方が必要になります。

悪いところばかりに目が行き、いくら手に入れても満たされないような心もあれば、善いことに目を向け、今あることに感謝する心もあります。心を豊かにするにはよく言われますが、受け止める心の在り方によって、本来豊かであるはずのことに對して幸せを感じなくなるようになってしまうかもしれません。よくたとえられるのがコップの水ですね。コップに半分の水が入っていて、「半分しか入っていない」ととらえるか、「半分も入っている」ととらえるか。同じものに対して、心の在り方で、まったく正反対の感じ方になりますね。

3年生のみなさん、私立高校の入試まで「あと1か月しかない」と感じるか、「まだ1か月もある」ととらえるか。でもね、1か月分の伸びしろは間違いなくあるんです。1か月しかないからあまりできないな、なんて決めつけしないで、しっかり1か月分の伸びしろをゲットしようではありませんか。

たくさんのことに幸せを感じるような視野を持って、自分の心が喜び、心が豊かであるように、みんなそれぞれが実りある 1 年になることを願います。

◇ 奈良県社会を明るくする運動作文コンテスト入賞!

第 74 回“社会を明るくする運動”作文コンテストが実施され、本校 2 年生の竹内咲絢さんの作品が入賞しました。昨年の佐藤さんに続き、2 年連続の入賞です。奈良県の小中学校 162 校(小 99 校・中 63 校)、応募総数 10,017 点(小 5,766 点、中 4,251 点)の中から、小学校と中学校それぞれ 3 名の合計 6 名が入賞されました。

1 月 7 日に県の表彰式が奈良ロイヤルホテルで行われ、表彰と作文の朗読、記念品の授与がありました。



break time

上手に渡れるかな②! ?

前回に引き続き、古いつり橋を渡るお話ですが、今回は 4 人がそれぞれつり橋を渡る時間を変えています。前回の知識を生かして、今回はさらっとできますよね!!

ある晩、冒険好きの 4 人が古いつり橋を渡ろうとしました。このつり橋は 2 人で渡るのが限界で、3 人以上で渡ると壊れてしまいます。また、懐中電灯がないと暗くて危なくて、とてもじゃないですが渡れたものではありません。しかし、懐中電灯は一つしかありませんので、橋の行き帰りで必ず必要となります。なお、4 人がそれぞれつり橋を渡る時間は、一郎さんが 2 分、二郎さんが 5 分、三郎さんが 6 分、四郎さんが 10 分です。

さて、ここで問題です。4 人が無事に橋を渡り切るのに必要な時間は最短で何分でしょうか？(行きは 2 人で渡るけど、懐中電灯を次の人に渡すためには一人が戻らないといけませんね)

*答えはホームページを見てください。

生駒市立緑ヶ丘中学校 > 校長室だより